

第 119 号

育成会 会報

令和6年度版

発行所

一般社団法人
広島県手をつなぐ育成会

広島市西区打越町17-27
育成会総合福祉センター内
TEL (082)537-1773
FAX (082)225-7555
編集責任 金子麻由美

育成会の再活性化に向けて

一般社団法人広島県手をつなぐ育成会会長 金子麻由美



皆様には、日頃より広島県手をつなぐ育成会の活動にご理解とご

協力を賜り、誠にありがとうございます。これまで広島県手をつなぐ育成会の活動が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けてきましたが、昨年からはやと再活性化に向けて動き始めてまいりました。

皆様、前号の118号の会報をご覧いただけたでしょうか？皆さんの皆様から原稿をお寄せいただき、熱い思いを共有させていただいております。第1面には、神辺育成会の本人部会「神辺さくら会」が文部科学大臣表彰を受賞のことを掲載いたしました。本当におめでとうございます。この受

賞の陰には、支援者の皆様の本人に寄り添い継続したご支援があったからこそだと思います。私たち育成会活動は、本人の皆さんの幸せを目指しています。これからの各地区でもますます充実した本人活動が展開されますよう、皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

さて、令和6年度の広島県手をつなぐ育成会の活動の方向性について次の6点を重点として取り組んでまいります。

- 1 広島西圏域（廿日市市、大竹市、大野）による県大会の開催
- 2 地域育成会と施設保護者会それぞれの情報交換や「相談会・おしゃべり会」を継続して開催し、会員の悩みや困りごとを互いに共有し解決策の検討とそれを踏まえて、各地

- 域の課題解決のための第一歩の研究會開催
- 3 特別支援学校訪問
- 4 活動部会によるT-1プロジェクト事業（つながるプロジェクト）による各地域の再活性化
- 5 「手をつなぐ」他全育連の本購読数を増やすべく、図書館

楽しく安心して元気になれるような会を目指して

大崎上島町障がい児者わかばの会会長 平原真幸

に継続的に閲覧できる取組
今後とも、知的・発達障害のある皆様にとって安心して暮らせる地域作りを目指して当会が進んでまいります。ご理解・ご協力の程何卒よろしくお願いいたします。

今年度より大崎上島町障がい児者わかばの会の会長をさせていただいております。平原真幸です。私には25歳になる知的障害の息子がいます。息子の障害が分かった時は、思い悩む日々が続きました。そんな時、大崎上島町役場や大崎上島社会福祉協議会に相談し、医療機関や専門の先生を紹介していただきました。また、わかばの会の児童部にも入りました。同じ年代の子どもがおられる方々と思いを共有したり、アドバイスをいただいたりしながら、わが子と共にどう歩んでいけばよいのかを前向きに考えることができるようになりました。家族だけで悩んでいたところから、様々な人との出会いによって、息子や私たち家族の世界は広がっていったのです。大崎上島は島しょ部ということで、療育の場や専門機関、施設がほとんどありません。ですから、わかばの会の人たちと共に、ホースセラピー、ドルフィンセラピー、療育セミナーや、専門の先生を招いての相談会などを計画し、実施してきました。また、町への要望もしてき

ました。子どもたちの、笑顔で楽しく活動する姿、戸惑いながらも勇気を出して自分を乗り越えようとしている姿を見て、私もうれしく、そして勇気をもたってきました。息子が成人してからは、様々な制度について、また、親亡き後のことを考えるようになり、そのことについても先輩の方々の話を聞きながら、現在は模索しているところです。このように、わかばの会に入って会員の方々と一緒に活動してきたからこそ、今の私たちに至るのだと思っています。

わかばの会は大崎上島町合併と共に発足し、今年で21年目を迎えます。先輩の方々の今までの取組と熱意、功績を引き続いていけるように、そして、会員の皆様とともにわかばの会を楽しく安心できる、また元気になるような会になるよう、努力していきたいと思っております。



多島美あふれる大崎上島

第49回広島県知的障害者福祉大会 廿日市・大竹大会 第22回はつらつ大会（本人大会） 廿日市・大竹大会

開催のご案内

一般大会

9:30	10:00	10:45	11:40	12:30	13:30	13:40	15:00	15:30
受付	開会式	シンポジウム “絆”が救ういのち	昼食 休憩	金澤泰子さん講演会 「ダウン症の娘と共に生きて」	閉会式 大会決議			

はつらつ大会（本人大会）

9:30	10:00	10:30	11:40	12:40	13:40	13:50	14:50	15:00	15:30
受付	開会式 くさのみ作業所 和太鼓クラブ 「情熱」演奏	勉強会 災害について ●体験発表 ●防災グッズを入れてみよう ●行政の人からのアドバイス	昼食 休憩	Aグループ 行政との話し合い Bグループ バルーンアーチェリー体験 Cグループ けん玉体験など	音楽鑑賞 ●ピアノ演奏 ●廿日市吹奏楽 教室の演奏		閉会式 大会決議		



本年11月17日（日）、第49回広島県知的障害者福祉大会並びに、第22回はつらつ大会（本人大会）を廿日市市で18年ぶりに開催いたします。

この大会は、廿日市市手をつなぐ育成会、おのおの手をつなぐ育成会、大竹市手をつなぐ育成会の3育成会の共催で実施いたします。テーマは「つながろう ひろげよう 手と手をつなぐ“絆”の輪を!!」です。

障害のある我が子たちが、地域で生きがいを感じて幸せに暮らすため、さまざまなモノとの絆の輪をつながりひろげる大会にしたいと思います。

私たちの願いを実現する大会にするため、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

大会実行委員長 廿日市市手をつなぐ育成会
会長 栗栖 俊泰

第22回はつらつ大会 廿日市・大竹大会について
11月17日（日）に廿日市で開催されます。

午前中は勉強会です。皆さんと一緒に災害について考えてみましょう。体験発表、防災グッズを入れてみよう、行政の方からのアドバイスもあります。防災グッズは色々なものを置き、何人かの人に必要なものをリュックに入れていただきます。

午後からはAグループ：行政との話し合い、Bグループ：バルーンアーチェリー体験、Cグループ：けん玉体験に分かれて話し合いや体験をしていただきます。皆さん楽しんでください。

次に音楽鑑賞があります。ピアノ演奏や廿日市吹奏楽教室の演奏です。みんなで聴きます。

最後に大会決議の発表があります。

皆さんと一緒に楽しみましょう。廿日市におくください!!
お待ちしております。

現地実行委員長 廿日市市手をつなぐ育成会
さくらんぼの会会長 宮田 陽子

げん き かつどうちゆう とち かい 元気に活動中！「はつらつ友の会」

ひろしまけん て いくせいかいほんにん ぶ かい 「はつらつ友の会」は今年度もたくさんの活動に向けて代表者が話し合いを行っています。最大のイベントである県大会「はつらつ大会」への会長の意気込みをお聞きました。

たい かい たいかい はつかいち おおたけたいかい む 第22回はつらつ大会（廿日市・大竹大会）に向けて

ひろしまけん はつらつ友の会 会長 河野 靖範
わたし ひろしまけん はつらつ友の会では、11月17日に開催される「第22回はつらつ大会 廿日市・大竹大会」に向けて、2月に一度代表者会議を行い話し合いを行っています。話し合いでは、廿日市と大竹の仲間が中心となって意見交換をして、大会内容について決めているところです。

こんかい たいかい ぜんこくかくち けんない まいとし ほっせい さまざま さいがい ごばんちゆう さいがい たいけん
今回の大会では、全国各地や県内で毎年のように発生する様々な災害があることから、午前中は「災害についての体験発表」や「防災についての行政からのアドバイス」、「防災グッズを選んでいれる体験」をし、みんなで防災について考えたいと思います。

ごごからは、3グループにわかれます。Aグループではわたしが日頃困っていることや疑問に答えていただく「行政との話し合い」をします。日頃から思っていることなど意見を出し合ってよい話し合いになったらと思います。Bグループは佐伯国際アーチェリーランドの方に来ていただいて「パルーンアーチェリー体験」をします。パルーンアーチェリーは見たことが無いのでとても楽しみです。Cグループは廿日市がけん玉発祥の地ということで「けん玉体験」などをします。

その後、全員で集まって、ピアノ演奏、吹奏楽の音楽鑑賞をします。皆さんがよく知っている曲を演奏していただきますので、会場で盛り上がりましょう。

この大会での決議文について、今話し合いを進めているところです。私たちの思いが多くの人に届くよう、みんなで意見を出し合って決めていきたいと思います。

大会までみんなで頑張って素晴らしい大会になるようにしていきたいと思しますので、多くのご参加をお待ちしています。みんなで大会を盛り上げていきましょう。



第9回全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会秋田大会

大会スローガン

「共生社会をめざし、
将来を見据えた活動を続けよう」

今年の全国大会は秋田県秋田市で開催されます。一般大会は分科会やシンポジウム、本人大会では「夢」を語り合い、スポーツ、手作りワークショップ、バスツアーなどたくさんの企画があります。各支部へ詳しい「開催要綱」を配付しています。ぜひ参加してください。



今年度の活動

支援者 西山 千秋

新型コロナの感染症は少しずつ落ち着きを見せて、はつらつ友の会代表者会議も意思伝達の難しかったリモート会議から対面での会議が増えました。

さらに、前年度からの懸案だった支援者会議を開催し、地域での課題を意見交換することができました。県内各支部での問題を抱えながら会員の増加や支部の復活等に力を入れて、今年も支援者を交えてはつらつ大会に向けて議論を重ねています。本人の生活全般での質の向上、前進につながっていると感じています。

今年度のはつらつ大会で、現地での福祉の課題を行政に質問し現状を説明してもらうため、それぞれの地域ではどうなっているのかを話し合っています。今年度からは一般企業にも合理的配慮が義務化され、障害者の方々も働きやすい職場が少しでも多くできるよう期待しています。大会決議文もみんなですっかり考えて、より良い内容になるように支援していきたいと思っています。

はつらつ大会をたくさんの参加者で盛り上げていきましょう。

第12回手をつなぐ育成会中国・四国大会 第12回手をつなぐ育成会「すまいる大会」

香川大会



大会テーマ「うどんとアートの県 香川から、笑顔の輪を広げよう！」

大会スローガン「一人ひとりが自分らしく暮らすために」

すまいる大会スローガン「かなえよう～夢～ 自分らしく！」

今年の中国・四国大会は香川県高松市で開催されます。

すまいる大会では、福山育成会本人会「仲良し会」の岡本仁さんが第1分科会「自分らしく暮らす」で発表します。皆さん応援してください。



すまいる大会発表への意気込み

ふくやま て いくせいかい なかよ かいがいちよう おかもと ひとし
福山手をつなぐ育成会 仲良し会会長 岡本 仁

ぼく て いくせいかい たいかい か がわたいかい しごと
僕は、手をつなぐ育成会すまいる大会香川大会で、仕事のことについて発表をします。発表は、緊張しています。原稿はできて、発表の時の写真を撮っています。頑張りたいです。



新サッカースタジアムでレジーナを応援

広島市手をつなぐ育成会南区支部 中尾 美恵



エディオンピースウイング広島が完成し、いつかは行ってみたいと思っていたところ、一般社団法人生命保険協会様からのサンフレッチェ広島レジーナの試合観戦のご招待のお陰で願いが叶いました。当日は晴れ。「平和の翼」をイメージした特徴的な屋根と正面のモニュメント前で写真撮影。三階ゲートから入り、大関弁当（美味しい、チョイスが素晴らしい）を受け取って、メインスタンドの指定されたエリア内で着席。緑色のピッチ、バックスタンドの紫色、そして空の青さ：声を上げてしまうほど美しく、開放感があり日陰で風が通り気持ちが良い。気になるトイレは充実しており、特に長男と入れた男女共用トイレは本当に助かった。一般のトイレは一方通行の仕組み。一人でトイレさせると当然入口から出てきた。やはり…と納得。



肝心の試合。選手との距離が近く声も聞こえて臨場感があり、プロのスピード・パス回しに感激。アップをする選手がすぐそこにいる。チャンスになると大型ビジョンにサンチエが映り、タオル回しを促す。かわいい。広告の電光掲示板が走るように流れていく。上野真実選手のゴール、そして勝利の瞬間、歓喜に沸いて一体感が生まれた。そこまででも十分感動したが、最終戦セレモニーもあり、入場者数の三つの記録を達成したことや、中村伸監督の退任、近賀ゆかり選手の挨拶等、充実感満載の忘れられない日となりました。生命保険協会様、そして県育成会事務局の皆様深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

YouTubeライブ視聴 放課後等デイサービスのこれから ～良い放デイ、悪い放デイって？～

大竹市手をつなぐ育成会会長 尾池 菜緒美

6月22日（土）、せっかくの又村あおいさん講師のオンラインセミナーなのに、一人小さな画面を観て…というのともたぎい、もつと効果的にとこの思いから、大竹市社会福祉協議会と共催で、関係者に声掛けてスクリーンで視聴することにしました。

会場やオンラインに必要な機器のセッティング、チラシの印刷、申込受付は社協が協力してくださりました。チラシには会場等の情報を追加して、市内外の関係者に配布。県の事務局も応援に来てくださって、育成会の書籍やパンフレットも豊富に揃いました。参加者は、相談員や育成会会員、自立支援協議会の部会会員他18名。セミナーの後は、新たな課題を共有しました。知識は勿論、育成会の事業の理解、社協との共催など資金0で、得るものが多い会となりました。皆様に感謝しています。



今年度もやっています「おしゃべり会・相談会」

昨年より予算化している「おしゃべり会・相談会」。今年もすでに3か所で実施していますので、どんな内容だったのかご紹介いたします。

「サポートファイル」気負わず手軽に書き込める存在に 東広島市手をつなぐ育成会

東広島市手をつなぐ育成会 梶山 里奈

4月17日（水）東広島市社会福祉センターで開催された、サポートファイル&相談会に参加しました。

ここでは、サポートファイルの説明、取り掛かりやすい項目はどれか、またいかに簡単に誰が見てもわかるような記入の仕方や、事業所からの資料を有効に使うためのポイントなど学ぶことができました。

よし！家に帰って我が子のためにやるぞ！と思ったのですが、あれから2か月。日々の生活に追われるのを言い訳に怠けてしまっていて全くできていません。友人も一緒に参加しましたが、やはり手を付けられないでいるそうです。

こんな情けない私達のために、書き込み作業の会も東広島市での開催を期待したいです。仲間とともに意欲的に取り組むことができ、また定期的に開催されれば、その日を目標に自宅でも一人で取り組むことができそうです。

せっかく「我が子を生きやすくするための大切なもの」と感じられたサポートファイル学習会。教わった先輩方のようにサポートファイルをいつも目に留まる場所に置き、気負うことなく手軽に書き込める存在にしたいです。

おしゃべり会&ミニブーケワークショップ 廿日市市手をつなぐ育成会「未来十会議」

廿日市市手をつなぐ育成会 新谷 ゆみこ

「未来十会議（みらいふらすかいぎ）」は、主に就学期の子どもがいる保護者で活動をしています。

4月19日、廿日市市の山あいにあるthe fox and boat cafeにて、おしゃべり会&ミニブーケワークショップを開催しました。講師は【花燕 はなつばめ】の河口さんで、フラワーギフトお花の教室以外にも障害者向けの花育活動をされています。河口さんも未来十会議のメンバーの一人です。

おしゃべりしながら、ミニブーケの作り方やテクニックを教えてもらい、ワークショップ参加者に初対面の人がいっても少し話せば意気投合。子どものこと、家庭のこと、学校のこと、これからのこと、話



すことは尽きません。

気がついたら素敵なミニブーケが完成！

皆で作ったブーケを見ながら、カフェの方が淹れてくれるコーヒーや紅茶、そしてロースイーツに舌鼓♪

悩み事があっても、ざっくばらんに打ち明けられ、体験談や情報が共有できる癒しの場となっています。

大自然に囲まれたカフェで、ちよつとひと休憩♪

こういった時間を共にできるメンバーがいるとまた今日も明日も頑張ろうと思えます。

まだまだ子育て中で忙しくしていますが、こういった活動は大切にしていきたいと思えます。

愛情あふれる保護者に感動 神辺育成会 相談会・おしゃべり会

広島県手をつなぐ育成会 副会長 柏田 潤子

6月24日神辺育成会にて、学齢期の保護者の皆様向けの相談会・おしゃべり会を開催しました。福山北特別支援学校PTA会長並びに元顧問、草笛学園相談員2名のご参加もあり、ご要望いただいた「年齢に応じた子どもへの関わり方やサポートファイルの必要性について」お話しさせていただきました。困り事等をお聞きしました。中には、他に類を見ないほどのとても深刻なお話もありました。我が子の強いこだわりと日々孤軍奮闘する方、壮絶な介護生活をプラス思考で達観された方、排せつ支援に苦慮しながらも我が子の喜びを模索される方、我が子の行動に平身低頭し、学校現場の対応に苦慮される方。それでもどの保護者も、可愛い我が子へのあふれんばかりの深い愛情をお持ちで、近年、親子関係の希薄さが危惧される中、目頭が熱くなるほど感動させていただきました。参加者全員が「何とかならないものか」の一心で、真剣に意見を交わしたのは言うまでもありません。

この親子の皆様は幸多かれ。

募集中です

令和6年度広島県手をつなぐ育成会活性化事業「相談会・おしゃべり会」を実施しています。実施要項、書式等は各支部へ送っていますので、趣旨をご理解の上ぜひ応募してください。皆様のやりたい！という気持ちをお持ちの方は、応援したいと考えています。

【趣旨】コロナ禍で停滞した地域育成会・施設保護者会の活動を活性化するため、相談会おしゃべり会を開催し、正会員の困り事や悩みを互いに共有し解決策を検討していく。

第1回「安心して暮らせる地域づくり研究会」を開催

7月13日（土）、障害のある方とその家族が地域で安心して生活できる地域支援体制づくりに向けて、私たちにできることは何かを考える研究会を開催しました。

シンポジストの松浦真英様の発表の内容です。

地域支援体制づくり（大崎上島の事例）

大崎上島障がい児者わかばの会 顧問 松浦 真英

「この町に児童を対象にした放課後等デイサービス（以下、放デイと表記）を！」という当事者の声から共同募金の特段の配慮をいただき、社会実験事業がスタートいたしました。筆者は20年余り社会福祉協議会に勤務していたため、地域福祉としてコミュニティのエンパワメントを目指しました。例えば、対象となる児童、特に義務教育の関与の意図すること。多様な状態像に見られる多様性の意図する数字の活用と町づくりにおける放デイの関連性を整理しました。

特に障害児に対するサービスは、町外（島外）に行く必要があり小学校から高校までは谷間の状態でした。

最初に取り組んだのは人材の発掘です。これまで全く経験のないワーカーを求めることには非常に困難であり、社協と連携し、障害児に関する事項に特化したボランティアスクール（3年度間、都合12回の講座）を開催し、多様な発達についての理解普及とスタッフ発掘をしました。スタッフは殆どの受講者です。次に学校現場における諸課題を最も把握している教育委員会に相談を持ち掛け校長会において説明。三原特別支援学校大崎分教室との連携。スクールソーシャルワーカーとの連携（月4回程度のカンファレンスの実施。場合によっては家族も参加）、人権週間における筆者の事業内容、多様な発達を中心とした町民対象の講演会（町主催）の実施。町の障害児計画への参画と明文化を通じて、令和6年度7月より地元社会福祉法人により、週5日の事業として制度事業移行までの間、体制整備ができるまでは町単独の事業として実施されることになりました。

当初より特段の配慮をいただきました広島県共同募金会、賀茂医療センター元山淳氏に深く感謝の意を捧げます。



シンポジストの皆様（一番左が松浦真英様）

第1回「安心して暮らせる地域づくり研究会」に参加して

竹原市手をつなぐ育成会 会長 高下 美智江

7月13日に開催された研究会には元厚生労働省にて障害者の法整備や制度づくりに尽力し、今は竹原市市役所で活躍して下さっている高原さんが講師としてお話していただきました。

「今、なぜ地域共生社会なのか」制度はできたがそこからもれている人がたくさんいます。竹原市では今、「地域まるごと支えあい体制づくり事業」で支えあいネットワークをつくり市内連携・多機関協働がはじまっていますが、本人家族からの直接の相談は少ないようです。それはなぜでしょうか。本人家族からは声が出しにくい、また現状は困っていないので考えないようにしているなど色々なことが考えられますが、普段から悩みやうれしかったことなど小さなことを拾い上げて、いざという時に助け手になれるのは私たち育成会の役目なのではないのか？と考えるきっかけをいただけたと思います。

また、シンポジウムでは各地域の方の取組や地域で暮らすための取組を聞くことができました。自分事として考えていくためにはまだまだ知りたいことがたくさんあります。今後もこのような研究会が続くことを願っています。



講師の高原伸幸様



現地・ズームでのハイブリッド開催

広島県障害者福祉事業所協議会について

新年度に向けて

広島県障害者福祉事業所協議会会長 春木強

6月14日(金)に広島県障害者福祉事業所協議会(以下「事業所協議会」という。)総会を無事に終えることができました。昨年度はG7広島サミット応援フェア、スーパードライブなど新しい取組を行いました。事業所協議会再活性化に向けては、まだまだこれからやらねばならぬことばかりです。

今年度は事業所協議会三役(会長・副会長・幹事)が密に話し合いを行い事務局と連携して県内の加盟事業所に事業への参加を呼び掛けること、安定した運営を行うために会費以外の収入の方法を考えていくことなど、三役、事務局の皆様と協力し取り組んでいきます。

事業所協議会懇親会に参加して

社会福祉法人やぎ 多機能型 八木園 サービス管理責任者 三吉 真子

懇親会に参加し、改めて他事業所の職員の方々と支援についてなどの話しができる場があることの意義を感じる事ができました。施設ではできない話など、お酒の力を借りて言えることもあるのは懇親会のいい所なのかもしれません。また、同じ福祉の現場で頑張る同士として、互いに励まし合い、慰め合い、そしてアドバイスをもらい、悩みはみんな一緒と知ることができ、また明日からも頑張ろうと自分自身を鼓舞することもできました。何より、支援の幅を利かせるためには、より多くの考えや意見、ご指摘、応援があつてこそいい支援に繋がること、日々変わりゆく福祉の法律や考えなどをアップデートするためのいい時間となりました。

研修に参加して

亀山さくら園 生活支援員 政木 久美子

報酬改定についての研修に参加して、最初は意識していない内容だったので場違いなのではと思いつながら参加していましたが。現場で働く側としてあまり意識していなかったことですが、話を聞いていくうちに良くしていこうとしている反面、施設を運営していくことがいかに大変か、厳しい状況であることもわかりました。改めて、働く仲間が自分たちの居場所として楽しく過ごしていけるように、声にしっかり耳を傾けて、その人らしく過ごせる場所の提供をしていきたいと思えました。また、その場所を維持できるように働きかけもしていこうと思えました。



「きらきらフェア」に参加して

ふたつかの里 木村 宜祐

ふたつかの里では、利用者の皆さんと収穫したばかりのにんにくの販売を行いました。通常にんにくは、乾燥にんにくが一般的ですが収穫時期にはこの時だけのみずみずしい生にんにくが味わえるということで、毎年人気の商品となっています。また、関連商品として「スライスにんにく」「ガーリックパウダー」の販売も行いました。こちらも様々な料理に使えるスパイスとして年間を通して販売している商品です。

き入る方も大勢いらつしやるなど、さらに盛り上がりました。昨年の「G7広島サミット応援フェア」に続くイベントとして行われた今回の「きらきらフェア」の成功を今後も継続していくことで「広島県障害者福祉事業所協議会」の活動を広く知っていただくことができたいと思います。「きらきらフェア」に参加させていただきありがとうございます。

きらきらフェア当日は、平日にもかかわらず多くのお客様が来場され作業所の活動を知っていただく良い機会となりました。お客様の中には、にんにくの栽培をされている方もいらつしやり栽培方法、商品開発、販売方法や販路の開拓等アドバイスをいただくこともありました。また、日頃なかなか関わることでできない他事業所の皆さんと交流することで、改めて自分たちの活動を見つめ直す良いきっかけにもなりました。



商品販売、ステージ発表、作品展、事業所紹介とたくさんの企画で盛り上がった会場

共生社会の実現に向けて 障害者理解を全国に広めるための

全育連啓発キャラバン隊研修会（ハイブリッド）開催のお知らせ

開催日時 9月3日(火) 10:30～15:10
 開催場所 育成会総合福祉センター
 1階研修室（オンライン参加）

＜プログラム＞

- ①基調講演：テーマ「改正障害者差別解消法と啓発キャラバン隊活動」
 又村 あおい（一社）全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事
- ②実演「空」千葉県手をつなぐ育成会
- ③あいサポート運動のPR 鳥取県
 ～ 昼食休憩 ～
- ④シンポジウムテーマ「教えて！民間事業所での啓発のノウハウ」
- ⑤グループディスカッション（オンライン組はZoomブレイクアウトセッション利用）

【開催趣旨】

地域で暮らす知的・発達障害のある人が増える中であって、障害特性を地域の方々に正しく理解していただくことはとても重要です。そこで、親しみやすい疑似体験などを通して障害特性理解を広める「啓発キャラバン隊」の活動をより広げていくため、今年も「啓発キャラバン隊研修会」を開催することとしました。

育成会総合福祉センターで参加希望の方は広島県手をつなぐ育成会事務局まで、メール、ファックス、お電話にてお申し込みください（各支部には別途案内をお送りしています）。

(TEL 082-537-1773 FAX 082-225-7555
 メール kenhonbu@pref-h-ikuseikai.or.jp)

令和6年度の行事予定（令和6年7月以降）

行事名	開催日	開催場所
第1回安心して暮らせる地域づくり研究会	令和6年7月13日(土)	育成会総合福祉センター
全育連啓発キャラバン隊研修会	令和6年9月3日(火)	育成会総合福祉センター（オンライン）
令和6年度広島県知的障害者相談員研修会	令和6年9月10日(火)	育成会総合福祉センター
	9月11日(水)	みよしまちづくりセンター（予定）
あいサポートふれあいコンサート	令和6年9月14日(土)	西区民文化センター
第9回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会秋田大会	令和6年10月12日(土) ～13日(日)	秋田県秋田市
広島県障害者卓球大会	令和6年10月20日(日)	スポーツ交流センター
第23回全国障害者スポーツ大会SAGA2024	令和6年10月26日(土) ～28(月)	佐賀県
第12回手をつなぐ育成会中国・四国大会 香川大会	令和6年10月27日(日)	香川県高松市
第12回手をつなぐ育成会すまいる大会 香川大会		
第49回広島県知的障害者福祉大会 廿日市・大竹大会	令和6年11月17日(日)	はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあ
第22回はつらつ大会（本人大会）廿日市・大竹大会		
2024ポウリンピックinふくやま	令和6年12月7日(土)	コロナキャットボウル福山
広島県はつらつ友の会 「本人による本人のための相談会&交流会」	令和7年1月26日(日)	福山市神辺町

互助制度（旧付添看護料共済）

広島県手をつなぐ育成会
 会員限定の保険です

- ①入院保険 病気やケガで入院したときの補償
 - ②傷害保険 本人の傷害（ケガ）の補償
 - ③他人への損害賠償金 他人への損害賠償
- プランは2つあります Aプラン（12,000円）、Bプラン（18,000円）／年間
 補償内容（Bプランの場合 年間掛金 18,000円）

- 知的障害のある方対象
- 特別な審査は不要

入院保険	・付添看護保険料	1日に付き	5,000～8,000円
	・差額ベッド費用	1日に付き	3,000円までの実費
	・入院諸費用	1日に付き	1,000円
	・入院一時金	1入院に付き	5,000円
傷害保険	・ケガによる入院	1日に付き	3,000円（180日限度）
	・ケガによる手術		15,000・30,000円
	・ケガによる通院	1日に付き	1,000円（90日限度）
	・ケガによる後遺障害		8万～200万円
	・ケガによる死亡		200万円
他人への損害賠償金	・対人・対物	1事故	5,000万円 限度（自己負担なし）

詳しい資料のご請求、お問い合わせは下記までどうぞ。
 ≪共済事務局≫ 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会
 電話 082-537-1773 FAX 082-225-7555
 ≪保険委託引受会社≫ AIG保険会社 広島支店
 担当 ジェイアイシーウエスト広島株式会社
 電話 082-511-7025 FAX 082-511-7026

☎お気軽にお電話
 ください。